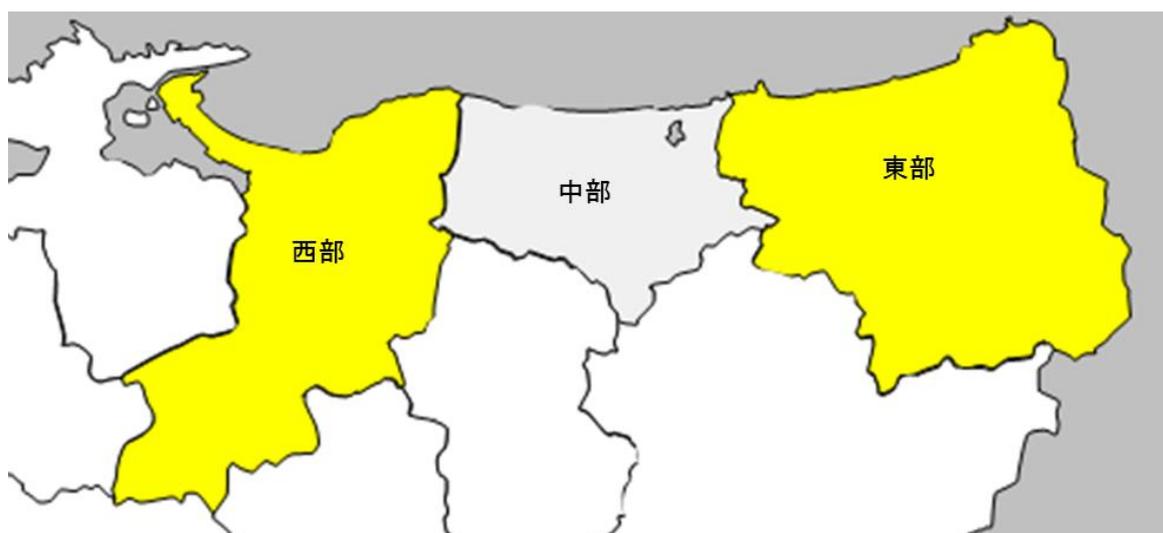


# 31. 鳥 取 県



## 3 1 鳥取県

## A. 医療提供体制の現状

鳥取県は、人口 59 万人で日本で最も人口の少ない県であり、医療圏の数も 3 個と日本で一番少ない。鳥取県の特徴は、(1) 人口当たりの潤沢な医療資源、生かし切れていない医療資源、(2) 医療の中心は西部（米子）、他医療圏へも資源の分散である。

## (1) 人口当たりの潤沢な医療資源、生かし切れていない医療資源

全県を通しての偏差値が病床数（57）、一般病床が（57）、病院勤務医（57）、全身麻酔数（59）、看護師数（54）と、高水準である。ただし鳥取県では、医療資源が多いが、診療科の偏在や、必要などころに必要な人員が配置されないなどのミスマッチにより、数の割に、主要病院の主要診療科に欠員がみられるなどの問題が発生し、豊富な医療資源を医療の質の向上に生かし切れていない状況にあると言われている。

## (2) 医療の中心は西部（米子）、他医療圏へも資源の分散

医学部のある西部（米子）は、高水準の医療資源が整っており、山陰の医療の中心である。一方、東部（鳥取）も中部（倉吉）も一定水準の医療資源が整っており、西部以外の医療圏へも資源の分散が行われている。これらの資源が有効に活用される、地域での適切な医療資源のマネジメントが期待される。

## B. 人口動向と将来に向けた地域の医療福祉の整備の方向性

## (東部)

県庁所在地鳥取には医学部がないが、一般病床が（56）、病院勤務医（48）、全身麻酔数（55）、看護師数（50）と、医学部のない地方都市としては高レベルの医療提供体制である。2010→35年の医療の総需要が4%増、0-64歳が23%減、75歳以上が35%増であり、今後この地域及び鳥取県全体での急性期医療提供体制の過剰感が強まることが予想される。まず、地域の医療資源を有効活用するための、地域での医療資源のマネジメントと同時に、将来の人口減少を見込み、急性期病床の一部を、後期高齢者に対応する病棟に転換する、急性期病床のダウンサイジングなどが実施されることが望ましい。

## (中部)

中部（倉吉）の偏差値は、一般病床が（59）、病院勤務医（48）、全身麻酔数（48）、看護師数（57）と、地方としては充実しており、他の医療圏間との患者の流入・流出も少ない独立した医療圏を形成している。また、高齢者施設も充実している。2010→35年の医療

の総需要が8%減、0-64歳が33%減、75歳以上が17%増であり、急性期病床の一部を、後期高齢者に対応する病棟に転換することが望ましい。

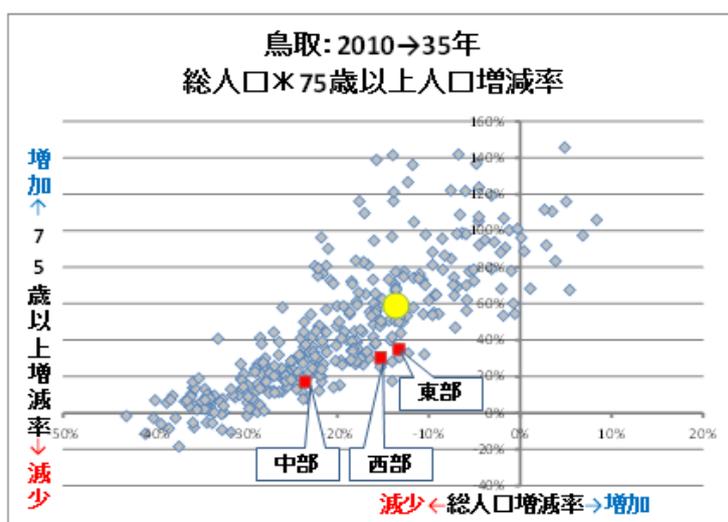
### (西部)

西部（米子）には、鳥取大学があり、山陰地方の医療提供の中心である。一般病床が（58）、病院勤務医（68）、全身麻酔数（67）、看護師数（58）と、高レベルの医療提供体制である。また、高齢者施設も充実している。2010→35年の鳥取県全体の総医療需要が0%、0-64歳の医療需要が26%減、西部（米子）の総医療需要が0%、0-64歳の医療需要が24%減を考えると、急性期医療の提供能力の過剰感が今後急速に強まっていくことが予想される。まず鳥取大学を中心に、島根県とも連携を取りながら、医療資源の地域マネジメント体制を目指すべきであろう。また人口減少に向けて、医師養成数の適正化と西部（米子）で働く医師が医師不足地域での勤務を促す誘導策、高機能病床のダウンサイジングを検討する必要がある。同時に、西部の75歳以上医療需要の30%増加が予想されるため、急性期病床の一部を、後期高齢者に対応する病棟に転換する必要があるだろう。

表 31-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口	県内シェア	面積	県内シェア	人口密度	地域タイプ	高齢化率	2010→35年総人口増減率	2010→35年75歳以上人口増減率
全国	128,057,352		372,903		343.4		23%	-14%	59%
鳥取県	588,667	47位	3,507	41位	167.8		26%	-16%	29%
東部	239,829	41%	1,519	43%	157.9	過疎型	24%	-13%	35%
中部	108,737	18%	781	22%	139.3	過疎型	29%	-24%	17%
西部	240,101	41%	1,208	34%	198.8	過疎型	27%	-15%	30%

図 31-1 総人口と75歳以上人口の増減率（2010年→35年）



高橋泰、(株)ウェルネス、「二次医療圏データベース 集計集」2012

(A. 「医療提供体制の現状」、表31-1、表31-2、表31-5、図31-4)

表 31-2 総病床数、一般病床数、総高齢者ベッド数

二次医療圏	総病床数				一般病床数(再掲)				総高齢者ベッド数			
	総病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	一般病床数(再掲)	県内シェア	人口10万当り	偏差値	総高齢者ベッド数	県内シェア	75歳1000人当り	偏差値
全国	1,672,549		1,306	504	915,096		715	244	1,344,835		96	20.5
鳥取県	9,661	0.6%	1,641	57	5,265	0.6%	894	57	9,485	0.7%	111	58
東部	3,887	40%	1,621	56	2,076	39%	866	56	2,966	31%	91	48
中部	1,802	19%	1,657	57	1,018	19%	936	59	2,081	22%	116	60
西部	3,972	41%	1,654	57	2,171	41%	904	58	4,438	47%	128	66

※偏差値の「全国」については標準偏差を示している。以下同様。

図 31-2 病床数(人口10万当たり)、総高齢者ベッド数(75歳以上1,000人当たり)

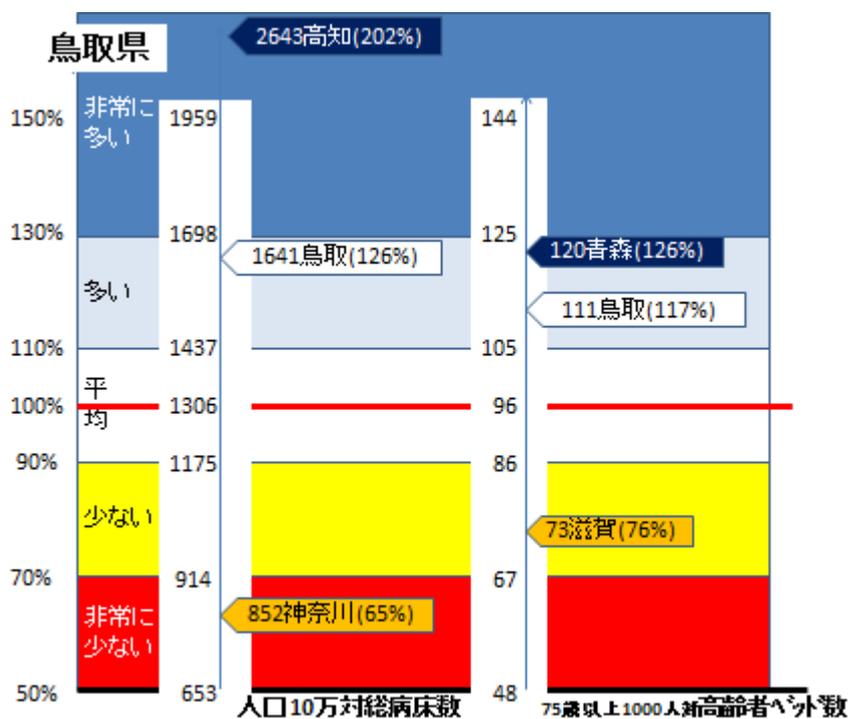


表 31-3 療養病床数、回復期病床数、精神病床数

二次医療圏	療養病床数				回復期病床数				精神病床数			
	療養病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	回復期病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	精神病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値
全国	333,717		261	208	61,697		48.2	44	349,345		273	211
鳥取県	1,779	0.5%	302	52	538	0.9%	91	60	2,031	0.6%	345	53
東部	734	41%	306	52	121	22%	50	51	924	45%	385	55
中部	329	18%	303	52	173	32%	159	75	278	14%	256	49
西部	716	40%	298	52	244	45%	102	62	829	41%	345	53

表 31-4 救命救急センター数、がん診療拠点病院数、療法士数

二次医療圏	救命救急センター				がん診療拠点病院				療法士数			
	数	県内シェア	人口100万当り	偏差値	数	県内シェア	人口100万当り	偏差値	数	県内シェア	人口10万当り	偏差値
全国	203		1.59	2.43	377		2.94	3.5	87,999		68.7	38
鳥取県	2	1.0%	3.4	57	5	1.3%	8.5	66	665	0.8%	113	62
東部	1	50%	4.2	61	2	40%	8.3	65	172	26%	72	51
中部	0	0%	0	43	1	20%	9.2	68	125	19%	115	62
西部	1	50%	4.2	61	2	40%	8.3	65	368	55%	153	72

表 31-5 病院勤務医数、総看護師数、DPC病院での全身麻酔件数

二次医療圏	病院勤務医数				総看護師数				全身麻酔件数			
	数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	数	県内シェア	人口10万当り	偏差値
全国	157,166		123	53	843,730		659	222	1,790,784		1,398	795
鳥取県	926	0.6%	157	57	4,460	0.5%	758	54	12,308	0.7%	2,091	59
東部	274	30%	114	48	1,557	35%	649	50	4,330	35%	1,805	55
中部	124	13%	114	48	875	20%	805	57	1,374	11%	1,264	48
西部	528	57%	220	68	2,028	45%	845	58	6,604	54%	2,751	67

図 31-3 病院勤務医数（人口10万人当たり）

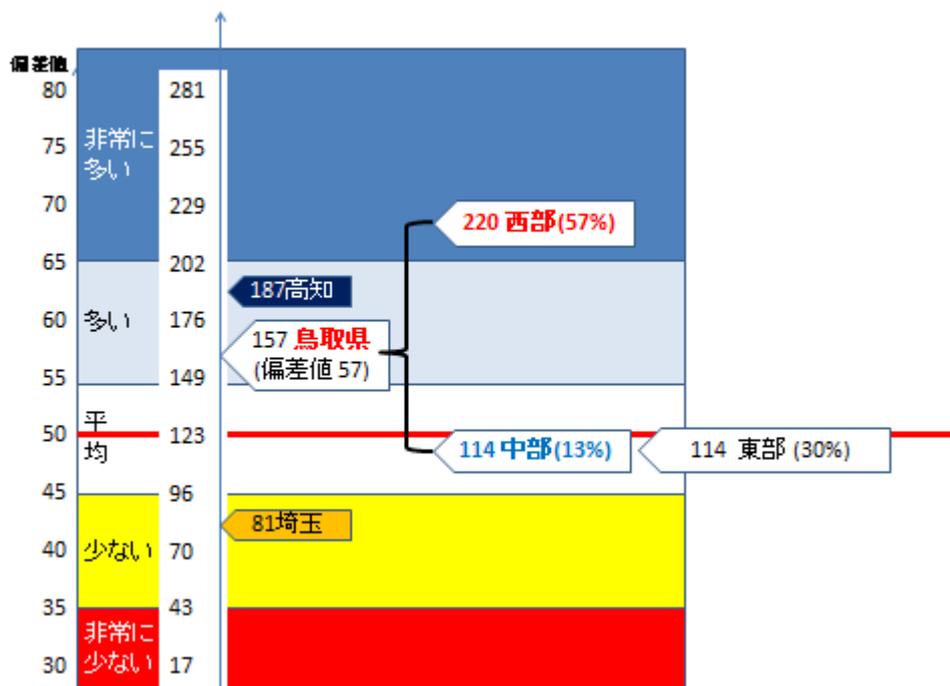


図 31-4 医療圏別基幹病院別全身麻醉手術数

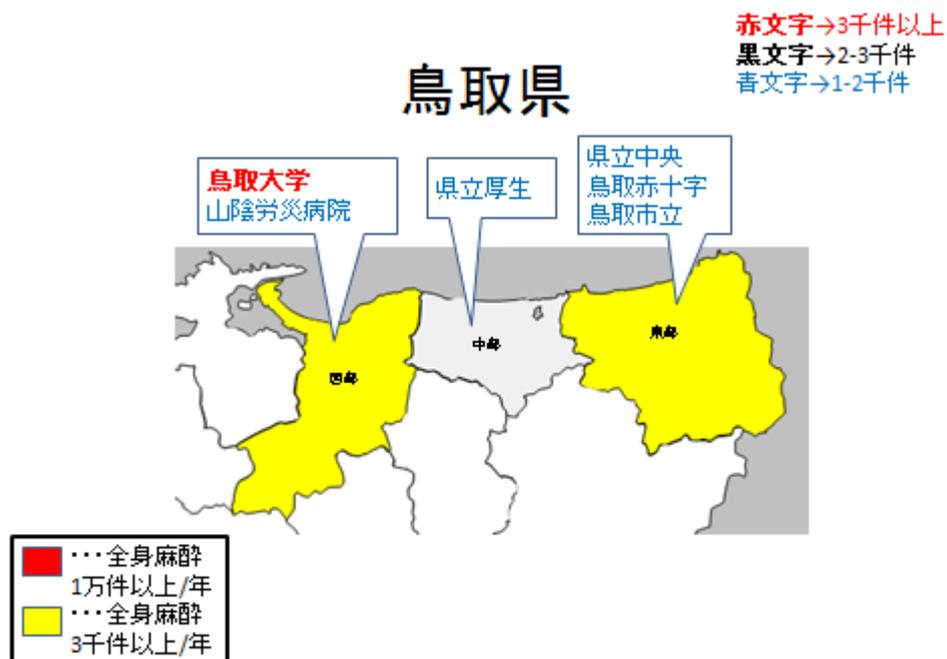
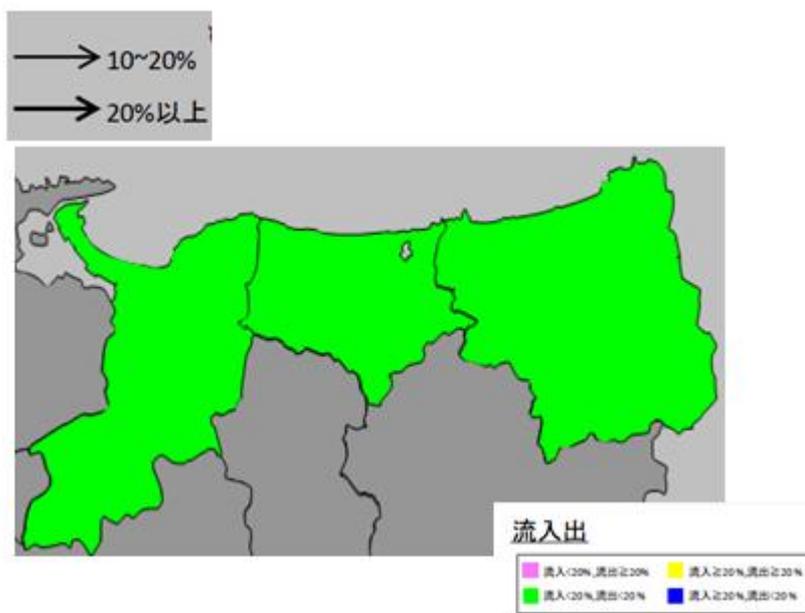


図 31-5 二次医療圏（流入出）



厚生労働省「医療計画の見直しに関する都道府県説明会資料」H. 24. 3  
(図 3 1 - 5)

表 31-6 介護保険施設ベッド数と高齢者施設収容数

二次医療圏	介護保険施設 ベッド数	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値	老人保健 施設収容数 (再掲)	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値	特別養護 老人ホーム 収容数 (再掲)	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値
全国	704,693		50	11.6	308,426		22	5.6	396,267		28	10.1
鳥取県	5,520	0.8%	65	63	2,671	0.9%	31	67	2,849	0.7%	33	55
東部	1,913	35%	59	57	831	31%	26	56	1,082	38%	33	55
中部	1,117	20%	62	61	572	21%	32	68	545	19%	30	52
西部	2,490	45%	72	69	1,268	47%	37	76	1,222	43%	35	57

表 31-7 高齢者住宅数（高齢者住宅、有料老人ホーム、グループホーム）

二次医療圏	高齢者 住宅数 合計	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値	有料老人 ホーム計	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値	グループ ホーム	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値
全国	640,142		45	18.1	235,778		16.8	10.9	157,413		11.2	6.0
鳥取県	3,965	0.6%	47	51	856	0.4%	10.1	44	1,049	0.7%	12.3	52
東部	1,053	27%	32	43	184	21%	5.6	40	261	25%	8.0	45
中部	964	24%	54	55	8	1%	0.4	35	338	32%	18.9	63
西部	1,948	49%	56	56	664	78%	19.2	52	450	43%	13.0	53

表 31-8 2010年→35年の介護・医療の需要予測

二次医療圏	地域 区分	2010→35 総医療 需要	2010→35 0-64歳 医療需要	65-74歳 医療需要	0-74歳 医療需要 (再計)	75歳以上 医療需要	2010→35 総介護 需要
全国		9%	-26%	-2%	-17%	59%	50%
鳥取県		0%	-26%	-11%	-20%	29%	25%
東部	3	4%	-23%	-3%	-17%	35%	30%
中部	3	-8%	-33%	-20%	-28%	17%	13%
西部	3	0%	-24%	-14%	-21%	30%	25%

図 31-6 鳥取県 2010 年→35 年介護医療需要の増減予測

